



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」

2013年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm  
 早天祈禱会 : 土曜日 7am  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)  
 : 益田デーロ (英語部)  
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)  
 : (714) 527-1456 (牧師館)  
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com  
 教会ホームページ : www.occc.org  
 教会所在地 : 4872 Bishop St.  
 Cypress, CA 90630

石 叫

◎石叫■

「カナダ修養会」②

しかし、それから二日後、何ということか、長雨が高じてカルガリーの中心街を流れるボウ川の水が溢れ、濁流となって市街を襲ったのだった。それによって市街に住む十万人が強制避難させられるという非常事態になってしまった。カルガリーの市制制定以来、初めてのことでという。先日行ったパンフを通る国道1号線も遮断されてしまい、ロサンゼルスに帰る二十五日でもまだ不通であった。だがカルガリーでは避難場所が以前から決められていたこともあって、特に混乱もなく、整然とした中で避難が進められたのは、さすが豊かな人の配慮の国カナダの面目躍如というところであった。それにしても洪水経験がないのに、それをも予知して体制造りをしていたとは心憎いばかりの配慮ではないか。修養会場であったカルガリー教会は被害に遭わなかったのだが、川の近くだったので周辺の道路が遮断されてしまい、会場には入れず、急遽、堀内先生の牧師館で三日間の集会をすることになった。それぞれ四十人以上が集まったので、牧師館はぎゅうぎゅう詰めであったが、それだけに賛美と熱気に溢れていた。

オレンジ郡教会にはこれまで五、六回ほど、鶴飼ファミリーを訪ねてカルガリーから石黒豊先生ご夫妻が見えたことがあるが、彼が全期間の賛美をリードしてくれた。彼がギターを爪弾くと、それによって集会がぐんと盛り上がるのだ。そして堀内先生がオリエンテーションをする。このカルガリーに導かれたのは私が推薦したからだと毎回語るのだ。何だか歯がゆいものを覚えたのだが、彼が一年半前に当地に導かれたのは、実に神のくすしいご計画による。たまたま私はそのツールになったに過ぎない。先生はこの地に根を下ろして魂の育成と弟子造りに専心している。彼は年齢を超えて誰にも好かれるという賜物がある。何せ、物怖じしない。そんな彼のリーダーシップは非凡である。彼との一週間にも及ぶ旧交を通して、実に多くの励ましが与えられたのは、何よりもの収穫であった。私は彼を励ますよりも、励まされに行つたようなものだった。

居間で語るのも、会衆が目前に迫り、いつもの教会での雰囲気とは違う。それだけに会衆と一体となつての集会となった。私は「ただ、この一事に勤む」というピリピ書三章13節からの聖句を中心に、これまでの牧会の集約とも言うべきメッセージを語った。その度に背後の祈りを感じた。帰宅する日の牧師館から見えるカナディアン・ロッキーはその日も雲で霞んでいた。先の洪水のような雨が、今度は霊の恵みとなって降ることを祈りながら帰途についた(完)。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

